

会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	伊藤智典
担当業務	理事会諸会議に出席し、定款第 6 章にさだめる職務を行いました。 JANNET (障害分野 NGO 連絡会) の幹事として各種会議に参加しました。 World Physiotherapy AWP region (世界理学療法連盟アジア西太平洋地区) の執行委員会の委員として、AWP region の会議や Webinar に参加しました。 協会役員・士会長 OB・OG ネットワーク部会の担当として課題検討を行いました。

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
10 月 7 日		第 7 回 理事会・第 3 回理事懇談会	協会会館
10 月 8 日		組織運営協議会	協会会館
10 月 26 日	○	JANNET30 周年準備委員会	オンライン
10 月 30 日		第 1 回 協会役員・士会長 OB・OG ネットワーク検討部会	オンライン
11 月 20 日	○	AWP region 執行委員会 会議	オンライン
12 月 2 日	○	JANNET30 周年記念事業	戸山サンライズ
12 月 6 日		第 2 回 協会役員・士会長 OB・OG ネットワーク検討部会	オンライン
12 月 9 日		日本理学療法士連盟 理学療法の未来を語る会	TKP 赤坂カンفرنスセンター
12 月 12 日	○	AWP region Webinar	オンライン
12 月 21 日	○	JANNET30 周年記念事業 振り返り会	オンライン
所感	10 月 7 日の理事会で、本会の定款 第 6 章に定められている事項のうち、以下の (1),(2) の決議を行いました。 【定款第 6 章 理事会の職務より】 (1) この法人の業務執行の決定 (2) 理事の職務の執行の監督 (3) 会長の選定及び解職 (4) 副会長の選定及び解職 (5) 専務理事の選定及び解職 (6) 常務理事の選定及び解職 (1) に関して訪問リハビリテーションの推進に係る本会の推進、役員報酬委員会の回答への対応、JANNET 周年事業に係る寄付金支払い、表彰規程の改定案、学会連合への著作権譲渡、第 53 回定時総会の日程等、利益相反取引に係る事項、ハラスメント防止規定に関する委員推薦、新入会員に関する審議事項を決議し、報告事項を確認しました。また同日行われた理事懇談会において、休会制度の在り方、役員選挙制度、理事会傍聴制度について意見交換をしました。理事会では意見交換すべき議題が多く会議が長引き、本来は十分に意見交換すべき理事懇談会の時間が短くなっている現状があります。議題の整理や議論の進め方などに工夫が必要と考えます。 翌 8 日には組織運営協議会が開催されました。これは本会と都道府県理学療法士会との重要な対話の機会です。士会との関係性が深い次年度事業計画や、全国的な取り組みが必要な政策活動について協議しました。報告議題では、本会の基盤となる組織強化対策本部の取り組みや、60 周年事業に関連して世界理学療法連盟の 2025 年学会に関連する情報提供や意見交換を行いました。感染症のパンデミックをへて、各		

	士会で行われている卒業生の入会促進や、会員の定着にむけて実践的な取り組みを学ぶ重要な機会となりました。入会するに値する魅力をどのように見せて、感じてもらうべきか。本会理事自らが広告塔となり、自身のもつネットワークを最大限に活用し、入会促進と会員の定着にむけた取り組みを行う必要性を感じました。 10月26日には国際と障害に関する民間組織が集う国内唯一のネットワーク組織、JANNET(障害分野 NGO 連絡会)の30周年事業に参加し、運営支援をしました。どこに生まれても、どんな障害をおっても、人が人らしく生きていく権利を守り、支援する立場をつらぬいていく気持ちを新たにしました。また将来にむけて、JANNETの存在意義と公益法人として本会が関わりを持つべき必要性についても再認識しました。 10月30日には第1回 協会役員・士会長 OB・OG ネットワーク検討部会を開催しました。元士会長で元本会理事、現役の士会長、現役の士会事務局長、現役の士会理事を、地域とジェンダーのバランスで調整して部会員就任をご承諾いただきました。第1回の会議は、発散型の意見交換とし、第2回目の会議(12月6日開催)では収束型の意見交換を行いました。年度末にむけて最終的な提言書(報告書)の取りまとめをしていきたいと思います。 12月9日には日本理学療法士連盟主催の、理学療法の未来を語る会に出席しました。田中まさし氏からは都道府県における効果的な政治活動について、実践的な話を聞くことができました。シンポジウムでは、コンプライアンスを守ることを前提として、いかに前向きにアドボカシーをすべきかについて学ぶことができました。 12月12日には World Physiotherapy AWP region 執行委員会の会議が行われました。2024年のAWP学会の進捗などについて確認し、企画について議論しました。また伊藤は Webinar 担当となりました。企画中心に議論したところ、次回はプライベートプラクティス、またその次の回は Future network をテーマとして Webinar を行うことになりました。プライベートプラクティスは、日本の現状でいうと、公的保険外で理学療法士がその知識や技術をいかんなく発揮し、国民の健康や福祉を増進するものといえます。海外の知見を日本で聞く機会はまずありません。また Future network は、学生や若手理学療法士らが世界理学療法連盟の活動を盛り上げるよう取り組みの一環です。グローバル化の進む社会において、インターネットを活用することで、簡単に世界とつながりが出来るようになりました。 この Webinar の参加は Zoom で行われます。Zoom では英語の自動字幕(ライブトランスクリプト)機能もあります。ちょっとのぞいてみるだけでも、ぜんぜん大丈夫です。ご興味のある方は気負うことなくお気軽にご参加ください。
報告日	2024年1月23日

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。